

ジャパングラブ NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

5月度理事会報告

第21回定期総会予定決まる 詳細、申し込み用紙など6月号に同封予定

「天然アワビと帆立貝を楽しむ会」開催 2面に記事と写真があります

5月2日(土)に開かれた5月度理事会には9名の理事が参加され、下記の点に付いて討議がなされました。

1) 7月19日(日曜日)午前11時より予定されているジャパングラブ年次総会は
 総合司会=大隅
 会長の辞=上野
 事業報告/事業計画=古田/柏原
 会計報告/予算案提出=沖山各理事が担当する事で決まりました。

2) 20年来に亘って継続してきた新年会の餅つき及び粕汁での会食をがらりと変えて会員が直接参加して楽しめる集い、例えばサンフランシスコ・ポスト通りにある山昌カラオケクラブで食事をしながら会員各自の隠し芸を楽しむ会との意見も出たが一方ではやはり従来の通り粕汁があって和やかに楽しんだ方が良いとの意見も出て最終的には会員多数が希望する新年会にしようという方向で今後も検討して行く事になった。会員の皆様の意見を事務局の方に寄せて下さい。

3) 総領事交代レセプション費用は会の代表2人までは公式行事故に会で負担する様既に決められておるが今後理事/役員が出席希望した場合にはその理由如何に依っては会費半額を会が負担しても良いのではないかとの提案あり。対外的な交流が必要と認められた場合には考慮する事も考えられる。

6月度理事会は6月6日(土曜日)午後4時より予定。場所はサンマテオ摺木マーケット2階。事務局(大隅敏男)

湯浅昭さんをお訪ねしました

私は今回の訪日の中で湯浅さんをお訪ねする機会がありました、4月4日の土曜日、滞在先の横浜から渋谷、井の頭線に乗り換え吉祥寺そして三鷹へ、タクシーに行き先の住所を告げホットしていた所、訪ねる湯浅さんのお住まいが見つからず(原因は私の手帳の住所が書き誤っていた)なんと探す事1時間30分、ようやく訪ね当てる事が出来ました。

湯浅さんはとてもお元気そうで、昔の話から今の新居に移ったいきさつなど色々とお話ししていただきました。

壁に飾ってある写真についてお尋ねすると、娘さんのご家族でした、あいにく湯浅さんの日本帰国と入れ替わりに米国に戻ってしまったそうで残念な事ですが、それでも毎年子供達の夏休みに合わせて一家で日本に来られ、すばらしい時間をおいじちゃんと共に過ごしておられる様でした。湯浅さんから「ジャパングラブの皆様にくれぐれもよろしく」との伝言を預かって参りました。

(湯浅昭さんはジャパングラブ発足当初からの会員であり、ご病気でその職を引退される迄理事を務めてくださいました。2011年日本に永住帰国されました、日本から時々この会報の為に寄稿をいただいています) 写真・レポート:古田統一



ジャパングラブ 第21回 定期総会

日時: 7月19日(日曜日)午前11時、総会に続いて食事会
 場所: サウス・サンフランシスコにある
Basque Cultural Center
 599 Railroad Ave. South San Francisco
 今から予定に加えてぜひご出席ください

渡邊正人総領事離任

2013年11月に着任以来1年6ヶ月あまりの任期を終えて
 渡邊正人総領事はこの度離任されます、後任総領事は山田 純氏で
 5月22日に着任されるとの事です。

新しいコースにチャレンジ! ジャパングラブ・ゴルフ大会

日時: 7月29日(水曜日)午前10時スタート
 9時30分までに集合してください
 場所: Metropolitan Golf Links
 10051 Doolittle Dr, Oakland, CA 94603
 方式: ダブルペリア方式
 参加費: \$ 65.00
 締切: 7月20日
 申し込み・チェック宛先: 沖山泰彦
 1564-36th Ave. San Francisco, CA94122
 問い合わせ: 沖山理事 (415)753-6492

Metropolitan Golf Links



バックの写真はメトロポリタン・ゴルフ・リンクスのホームページから転用



この欄は会員の皆様に開放されたスペースです、貴方のこだわり、旅の想いで、専門的知識など皆さんに伝えたい事をスタイルにこだわらずお寄せください。文字数はおよそ1,000字程度とし、毎月の締め切りは15日です。

東南アジアクルーズ (その2 三亜市、海南島)

大隅敏男

金融／商業都市、香港から船で南シナ海を南に一昼夜航海すると中国の楽園、サンヤ(山亜)に到着する。

此処は中国、海南島の最南端に位置し行楽／観光の入り口として栄えており、受け入れ態勢の整った観光都市である。

三亜は太陽、海、ビーチ、気候、原始林、動物、温泉、風情、田園、洞窟の十大観光資源が集中したユニークな国際的なビーチリゾート地であり、中国に於いてはトロピカルビーチリゾート資源が最も豊富で、密集する自然な地域の一つとなっている。

“三亜は最初三Y(サンヤ)と呼ばれ、三つの河が“Y”字となった意味であり、三亜河、大坡水と臨春水の三つの支流が三亜河に合流して南シナ海に流れ込んでいる。

三亜は歴史が長く明代の“正徳台詞”に既に“三亜村”と“三亜里”の記載がある。三亜の古城である崖城鎮は西漢の時代に海南が開拓されて以降、漢、南北朝、唐、宋、元、明、清代に亘って臨振郡、臨振県、振州、延徳、崖州、珠崖軍、吉陽軍、崖州直隸州の行政首府治所となっていた。崖城鎮は二千年の歴史のある八朝州郡治所と呼ばれている。^{*1}

歴史はこの位にして海南島は中国にとって台湾に次ぐ2番目に大きな島であり往々にして東洋のハワイと呼ばれるに相応しく赤道よりほぼ同じ距離の位置に属し、風光明媚な海岸線が広がり、気候の厳しい中国内陸からの行楽客のみならず海外各国からの観光客が季節を問わず訪れている。三亜で最も目を引くのは海岸線より数百メートル咄出した海中に岩石で固めた小島に建つ5百フィート近くある高さの南山観世音像であり其の優雅な造形に圧倒される。更に数キロ離れた場所に山を背景に建つ南上寺の壮大な仏閣は中国の仏教に対する不変な信仰の意を表している。

東南アジア観光目的地として海南島の三亜市は最も行ってみたい都市の一つではないかと思った。

^{*1} = Crystal "Reflections" February 14, 205 P-2 参照



“母の日”を明日に控えた5月9日(土曜日)の午後6時から予定通りパシフィカにある“シャープパークゴルフクラブ”で会員ゲストを含め22名が参加して珍しい天然鮑に“Bewitched”と云う名のカリフォルニア産シャルドネ及びピノーノアールを頂きながら数年ぶりに晩餐会を開催。

天然あわびとワインの夕食会

グルメ同好会
5月9日(土曜日) 午後6時
シャープ・パーク・ゴルフ場
参加22名

参加者にとって近くにあるこの隠れた場所は美味しい料理とともに大好評で今回参加出来なかった人達の為にも再度計画したいとの声もあり、成功裡に9時近くで閉会しました。

記事と写真:大隅敏男さんと写真:宇田川博文さん

